

フィリア・レター

～ 真の友人からの手紙～



発行所: 中部労災病院

〒455 - 8530

名古屋市港区港明 1-10-6

TEL 052 - 652 - 5511

FAX 052 - 653 - 3533

<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>



「フィリア・レター」発刊に際し

- 信頼される病院を目指して -

中部労災病院 院長 堀田 饒

この度、中部労災病院が、患者さんに向けて当院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者さんの建設的な意見を反映する広場として、「フィリア・レター」を隔月毎に発行する運びとなりました。相互理解を深める橋渡しの役目を果たし、信頼される病院の手助けになるのを本小冊子に期待しており、皆で大切に育てていただければと思います。

「フィリア」とは古代ギリシャの思想では「愛」または「友愛」を意味し、良い人間関係を築く上での基本として重視されました。医師（医療スタッフ）と患者さんとの関係に焦点を合わせれば「医のフィリア」となり、病気の診断・治療において、良い医療を目指すには両者の間に「フィリア」の構築が非常に大切と考えられました。医師（医療スタッフ）に求められたのは、フィロントロピア（人間への愛、患者への愛）とフィロテクニア（治療技術への愛）との調和のとれた融合が何よりも重要とされたのです。一方、患者さんの立場からみた「フィ

リア」に2つの要素が含まれ、医療技術、言い換えれば医師（医療スタッフ）への信頼、そして自分を診て呉れる特定の人への信頼すなわち感謝です。この医師（医療スタッフ）と患者さんとの信頼関係の構築を重視する考えは、古代ギリシャと現代とで大きく変わってはいませんが、自然科学の著しい発展と医療技術の進歩には目を見張るばかりです。

当院が掲げます新しい理念には、“医療の質の向上と安全管理の徹底” “生命の尊厳の尊重と患者中心の医療” がうたわれていますが、この度の「フィリア・レター」発刊を機に、前にも倍して皆様から信頼される、そして安全第一の病院を目指し、地域住民と国民の健康維持に努めるべく、職員が一丸となって取り組みたいと思います。この小冊子が、皆さんと中部労災病院との交流と理解を深める絆となり、質の高い、心のこもった医療提供の手助けになることを心より願っています。

今月号のお知らせ

- 1 発刊にあたって 堀田院長
- 2 医師のページ
「めまい」について 正木副院長
- 3 看護師のページ
季節の看護「熱中症・脱水予防」
子どものケア「夏の子どもの健康対策」

4 医療スタッフのページ

検査科「気楽に検査を」
放射線科「マルチスライスCTとは」
栄養管理室「食生活を見直してみませんか」
リハビリ科「はじめまして」

5 ボランティア&患者様のページ

- 6 みなと祭りに参加しました
- 次号のお知らせ



医師



めまいについて



めまいは どうしておこるのか

実際の空間と身体が感じる空間とのズレがおきたときめまいとして感じます。

めまいの種類は 3つに分けることができます。

回転性めまい；身体や まわりが回転していると感じます。

浮動性めまい；ふわふわして、雲のうえを歩いているように感じます。

眼前あんこく感；目の前が真っ暗になり、星が光るようになります。

30分以上回転するめまいが続くとき（回転性めまい発作）は

内耳及び中枢神経系に急激な変化がおきていますよというサイン！！

このめまい発作には「危ないめまい」と「危なくないめまい」があります。

「危ないめまい」は生命に対する危険性のあるめまい；頭の中が原因。

中枢性疾患（脳幹、小脳など）

「危なくないめまい」は生命に対する危険性のないめまい；耳が原因。

末梢性（内耳、内耳神経）疾患、非前庭性疾患。

「危ないめまい」ただちに 当院救急外来に 受診のこと！！

発作時に立ち上がれない、まっすぐ歩けない、声がかれる、のみこみにくい、ものがふたつに見える、激しく頭が痛むなどを伴うとき「危ないめまい」です。

とくに夏は熱中・脱水で、血液のこさが高くなり、内耳の血管がつまりやすい。耳に酸素がすくなくなり「めまい発作」となります。

水分補給が大切です！！

耳鼻咽喉科 めまい・平衡障害外来
副院長 正木道熹





看護師



季節の看護 ポイント情報

【熱中症】

体の中と外との“あつさ”の差によって引き起こされる体の不調です。急な暑さにより主に高齢者に起こるもの、高温環境で幼児に起こるもの、熱い環境の労働で起こるもの、スポーツ活動中に起こるものなどがあります。熱中症は、軽症（けいれん・数秒間の失神）から重症（意識障害・おかしな言動・過呼吸・ショックなど）までさまざまです。きわめて短時間で急速に重症になることもありますので、十分に危険性を理解しておくことが大切です。

熱中症予防 8 ケ条

- 1、知って防ごう熱中症
- 2、暑い時、無理な運動は事故のもと
- 3、急な暑さは要注意
- 4、失った水と塩分を取り戻そう
- 5、体重で知ろう健康と汗の量
- 6、薄着ルックでさわやかに
- 7、体調不良は事故のもと
- 8、あわてるな、されど急ごう救急処置

日本体育協会「熱中症予防の原則」より



【脱水】とは

体の中の水分や塩分が不足した状態のことをいいます。高齢になると、口乾感覚が鈍くなり水分摂取量が減るなど、脱水に対する抵抗力が弱くなり、脱水を起こし易くなります。気づくのが遅くなると、血液濃度が高く凝固し易くなる為、脳などの血管に血栓（脳梗塞など）をおこしやすくなります。

【予防の為に】

1日 1.5～2リットルを目安として、何回かに分けて水分補給をしましょう。（一度に多量に摂取すると心臓や腎臓に負担をかけます。）食欲がない時も、お茶、牛乳、ジュース、ゼリー、水分の多い果物などをとりましょう。

子供のケア ポイント情報

夏の子どもの健康対策

規則正しい生活に心がけよう。

大人に子どもの生活を合わせるのではなく、子どもの生活に大人が合わせていきましょう。夜は8時～9時にお布団に入るようにしよう。暗くして深い眠りに就くと成長ホルモンが出て、疲れや病気を早く回復してくれます。

小さい子ども(乳児・幼児)ほど午後1時～3時くらいまでのお昼寝をすると良いでしょう。(昼寝をしすぎて、夜寝れなくならないように調整しよう。)

お菓子の食べ過ぎ、ジュースの飲みすぎに気をつけよう。

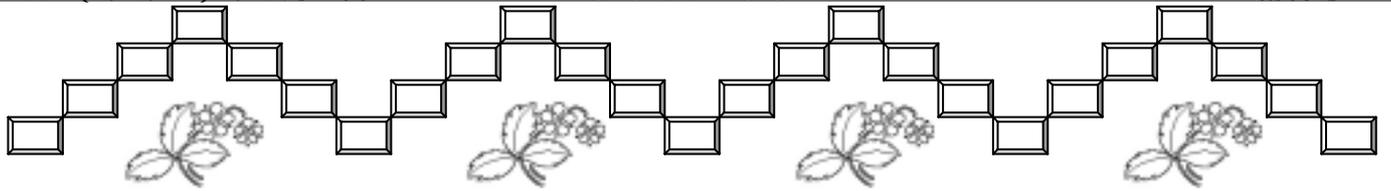
時間を決めておやつはとろう。だらだら食べないようにしよう。

水分はとても大事。お茶で充分です。

冷房の使い方に気をつけよう。

暑いけど、換気をしよう。できれば自然の風を取り込もう。

冷房を使う場合は、27～28（強風でも可、直接身体に当たらないように風向を調節する）くらいで外気温との差をなるべく少なくしよう。



「気楽に検査を」

検査科

心電図・脳波・筋電図などの検査で、電極を直接体につけると聞いた時「恐いな」と不安に思われたことはありませんか？

大丈夫です。感電はしません。心筋・脳・筋などより出ているごく弱い電流を各々の装置で拾っているだけです。

なお、検査について何か分からない事がありましたら、担当の検査技師にお気軽にお尋ね下さい。

「マルチスライスCTとは」

放射線科

昨年末、当院にマルチスライスCTが導入され、順調に稼動しています。

このCTは従来のCTに比べ、高速に、精細な画像を得ることができます。患者様には、数回、息を止めていただくだけで撮影が完了します。撮影後は担当技師がコンピューター処理によって診断に有用な画像を作成し、患者様のお役に立てるよう努力しています。

医療スタッフのページ

「食生活を見直してみませんか？」

栄養管理室

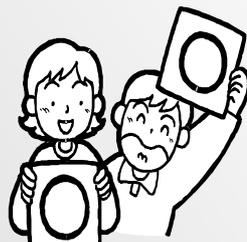
悪い生活習慣は、徐々に健康をむしばみ、様々な病気を招きます。放置すると生活習慣病に苦しむことになりかねません。正しい知識を持ち食生活改善に取り組んでもらえるように、栄養管理室では、栄養指導を実施しています。自分の食生活を見直してみませんか？

実施：月曜日～金曜日まで毎日

完全予約制

診察時に医師に栄養指導箋を書いてもらって下さい

受付：栄養管理室



「はじめまして」

リハビリテーション科

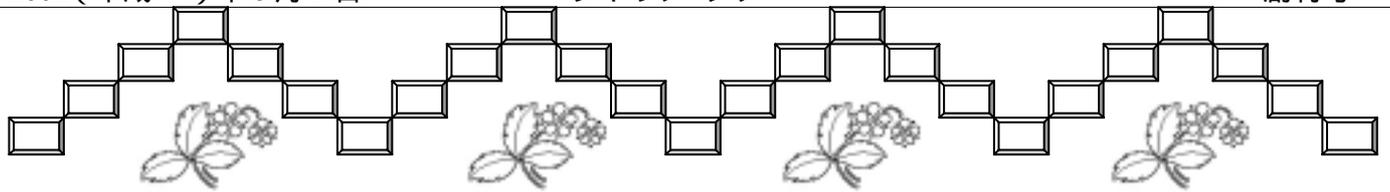
「リハ」「リハビリ」という言葉はドラマや漫画などにもときどき、そして歌謡曲で若者に人気の「ミスターチルドレン」の、とある曲にも登場するようになりました。

およそ、20年前に「国際障害者年」があり、マスコミでよく取り上げられて以来お馴染みになったと思います。しかし、中味についてはまだまだ充分には知られていないようです。そこで「リハビリ」に関する諸々のことについてこのコーナーを使って順次紹介させて頂こうと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。まずはご挨拶まで。

今後の予定

- * リハビリテーションとは
- * 「リハ」の各部門について
- * 家で役立つワンポイントアドバイス

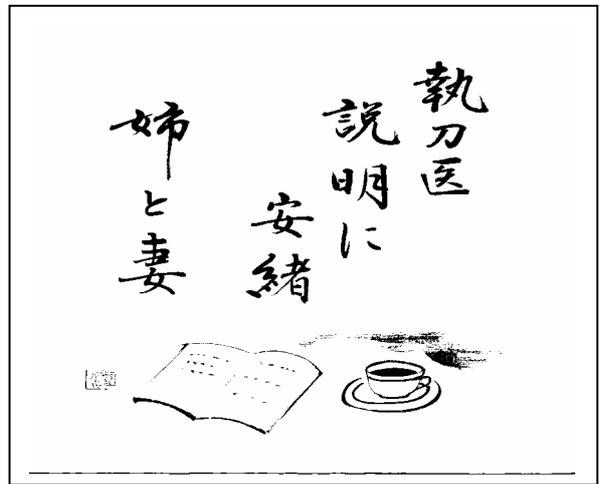
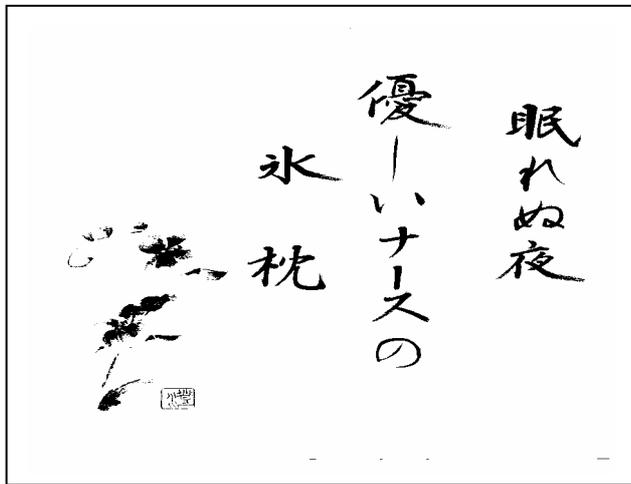




患者様の声

水井八郎氏(患者様)の作品をご紹介します。

絵と書の協力は水井澄子様(実姉)です。



次回からは、皆様からお寄せいただいた内容をのせていきたいと思ひます。

ぜひとも いろいろなご意見・ご感想よろしくお願ひします。

病院ボランティアとは



ボランティアとして病院の中に入り、やさしく温かな雰囲気作りのお手伝いを無理せず、「できる時」「できる事」「できる形」で行っています。

活動内容

玄関の再来機前で受診手続きのお手伝い、場所が分からない人への院内案内、車椅子の方のお手伝い、花壇の手入れ、車椅子の手入れ、シャンプーボランティア、呈茶会の開催、車椅子にかける袋作り、氷枕カバー作り、アロマテラピー、読書ボランティアなど

ただいま登録会員 37名 ボランティア「四つ葉のクローバーの会」

ベストフォト賞



みなと祭りに参加しました。踊り子 50 名、手作りの山車と法被隊を結成、太鼓の音と共に総勢 100 名がにぎやかに演出しました。

次回は、10 月に発行予定です。秋に気をつけて頂きたい季節のポイント情報・病院の最新情報等盛りだくさんでお届けしたいと考えています。お楽しみに!!



編集後記

ひとびとが自分の健康管理を重視して、適切な医療施設にコンサルトして、健康・安全のネットワークを構築して、ともに生き抜く!! この紙面が役割を果すことを願います。

道熹

